



Link つながる Live 生きる Learn 学ぶ Labour 労働 Liberty 自由

エルコンパス

宝塚市立男女共同参画センター・エル 2024年11月 Vol.55

宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとらわれず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現をめざすための施策推進の拠点施設です。センターの愛称「エル」は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。



特集

寄稿)「災害とジェンダー」～阪神淡路大震災から30年～

あれから30年。あの日、今、そしてこれから	P.1~2
寄稿)「災害とジェンダー」～阪神淡路大震災から30年～	P.3
講座案内：12月~3月	P.4~P.6
令和6年度 市民企画支援事業案内	P.7
施設利用案内	P.8



あれから30年。あの日、今、そしてこれから



2025年1月17日で阪神・淡路大震災から30年になります。ここ宝塚市でも甚大な被害があり、多くの人が大変な思いをされました。今号の特集は、震災以降、「女性に対する暴力」の根絶に力を注がれてこられたNPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ代表理事の正井礼子さんに「災害とジェンダー」についてご寄稿を頂きました。あれから日本各地で多くの災害が起きましたが、その対策についてはジェンダーに関する事に限らず、まだまだ十分とは言えません。一方で過去の教訓を生かし、声を上げ続けた事で変わった事も沢山あります。

センター・エルでは、来年1月17日「阪神・淡路大震災から30年のつどい」と題して、『心の傷を癒すということ 劇場版』の上映と追悼コンサートを行います。震災時、手探りで被災者の心に寄り添い「心のケアのパイオニア」となった、若き精神科医・安克昌さんを描いた作品です。阪神・淡路大震災は「心のケア元年」とも言われていますが、映画の原案となった著書の中で安さんは、「“心の傷を癒すということ”は、精神医学や心理学に任せておくことではない。傷ついた人が心を癒すことのできる社会を選ぶのか、傷ついた人を切り捨てていく厳しい社会を選ぶのか。それは社会のあり方として、今を生きる私たち全員に問われていることなのである」と述べられています。震災で私達が経験し、学んだ多くの事を、次世代に受け継ぎ、これからの社会について考えるためにも、1月17日、一緒にセンター・エルにつどいませんか。あの日を経験した方も、そうでない方も、ご参加頂けると嬉しいです。(イベント案内の詳細はP4をご覧ください)

特集

寄稿) 「災害とジェンダー」～阪神淡路大震災から30年

認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ代表理事 正井 礼子さん

1992年にウィメンズネット・こうべを発足。阪神淡路大震災直後に「女性支援ネットワーク」を立ちあげ、女性のための幅広い支援を行う。震災以降は主に「女性に対する暴力」の根絶、特にDV被害者支援に力を注ぎ、付き添い支援など先駆的な取組みを行う。災害を女性の視点から検証し、防災・復興計画の策定に女性の参画の必要性を訴え、情報発信、全国各地で講演活動を行っている。



阪神・淡路大震災で経験したこと

1992年、女性の人権を守り、男女平等社会の実現をめざしてウィメンズネット・こうべが発足した。94年に女性たちが仲間に出会い、本音で語り合える場として「女たちの家」を開設。多くの女性たちが集い、自由に語り合った。そのうち、「夫からの暴力」についての電話が事務局に入るようになり、DVという概念も知らないままに、駆け込み寺のような活動が始まりつつあったその矢先に、震災があり「女たちの家」は閉鎖となった。

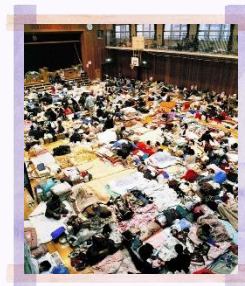
震災直後に「女性支援ネットワーク」を結成し、物資の配布、「女性のための電話相談」や女性だけで安心して語り合える「女性支援セミナー」などの活動を行った。マスコミが美談を垂れ流すなかで、被災地の女性たちの生の声をまとめる活動も始めた。相談の多くがDVだった。

19歳の女性は「彼と同棲していて被災し、彼の実家に居候しているが妊娠8ヶ月。彼はもう子どもなんかいらないと殴ったり蹴ったりする」と。別の女性は「家が燃えて10年のローンがある。夫の実家にいるが、毎晩のように殴る蹴る。3歳の娘の前でされるのでつらい」と。

多くの方が最後に「皆さんが被災して大変な時に、家庭内のつまらない揉め事を相談する私は我儘わがままですか」と言われた。避難所や仮設住宅、瓦礫の街の中で性暴力が起きた。避難所責任者は「加害者も被災者や。大目に見てやれ」と言った。

教室で複数の家族と一緒に生活する様子を、マスコミは「大家族のように仲良く暮らしている」と伝えたが、更衣室もなく「安心して着替えもできへん。めっちゃ、腹立つねん!」と泣きながら話す女性や、「自宅の整理に帰ってる間に、娘が同室の人から性被害にあった」という母親もいた。

避難所の運営は男性中心で、女性のリーダーは非常に少なく、トイレも校庭に男女の区別なく設置され、夜間の使用は怖かった。



1995年1月 避難所の様子 写真提供：神戸市

7月に神戸市内で近畿弁護士会主催シンポ「被災地における人権」が開催された。配布資料に「高齢者、障害者、子ども、外国人」の人権はあったが女性は項目になかった。

ある時、女性だけの集会で、仮設住宅で暮らすシングルマザーが「いつも代わりに買い物をしてくれる親切なおじいさんを、お礼に夕食に招いた。夕食後に性被害にあい口惜しかった」と淡々と語られた。隣の女性が「すぐに警察に訴えたの?」と聞くと「そこでしか生きていけないときに、誰にそれを語れと言うのですか?」と涙を一滴こぼされた。その言葉が忘れられず、二度とあってはならないとの思いがその後の活動に繋がった。

震災の翌年、阪神間の女性団体が集まり「神戸・沖縄 女たちの思いをつないで～私たちは性暴力を許さない!」という集会を神戸で開催。240人もの女性が参加し、終了後は「性暴力を許さない!」「女のNOはNO!」等のプラカードを持ってデモ行進した。

ところが、その後、一部マスコミから「被災地で性暴力はなかった。証拠がない、全てデマだ」と実名でバッシングを受けた。



1996年3月 デモ行進の様子

その記事が雑誌ジャーナリズム賞を受けたことで、災害について何も語りたくないという10年間沈黙することになった。

2004年12月のスマトラ沖地震発生直後に、アジア諸国の女性団体が、女性の安全に関する実態調査を行い、2005年2月にニューヨークで開催された「北京+10」会議で「被災地などの性的暴力は重要課題である」と世界へ発信した。

私は、彼女たちの迅速、かつ勇気ある行動によってエンパワメントされ「これまでの震災を女性の視点から検証しよう」と呼びかけ、2005年11月に神戸で「災害と女性」～防災・復興に女性の参画を～という集会を開いた。各地から女性たちが参加してくれた。



2005年11月「災害と女性」シンポジウム

アメリカのサンタ・クルーズ市が1990年にまとめた「1989年の災害後の女性への暴力影響調査」の報告書には「災害後、女性に対する暴力が増加することを予測し、防止活動が災害救援の中に組み込まれなくてはならない」と明記されている。

報告書は全米、カナダの危機管理機関に送られ高い評価を得たとのことであるが、日本には届けられなかった。

東日本大震災で経験したこと

3.11 東日本大震災発生後に、ミシガン大教授の吉浜さんから「女性への暴力被害調査をしよう！ 流言飛語（デマ）だと言われたいようなものを！」という電話があった。女性の人権に関わる団体や個人が繋がり、東日本大震災女性支援ネットワーク発足。さまざまな支援を行った。

「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査は、日本で初めてのものであり、実態を明らかにし、今後各地で予測される災害時の暴力防止に向けての取り組みに活かしていける貴重なものとなった。

避難所等で、力関係を利用した対価型ハラスメントが起きていたことを明らかにしたことは重要である。また、性暴力発生後の対応策として、安心して相談できる窓口の設置と同時に、加害者と離れた地域で安心して暮らすための住宅の提供や経済的支援が必要であることを国に提言した。

私は、東日本大震災発生から2ヵ月後、被災地の避難所を訪問した。被災地での女性や子どもへの暴力防止のために県警が動いたり、避難所運営に女性の視点を入れるように内閣府が自治体に通達する等、新しい取り組みが見られた。

しかし一方で、避難所の運営が男性主体であり、プライバシーの確保が不十分なことや、性別役割が強化され、乳幼児を連れた母子がいろいろなど、女性のニーズが反映されにくいこと、復興会議への女性の参画が少ないことなどは16年前とほとんど変わっていなかったことに愕然とした。

震災から30年を経て



1995年1月
被災した街の様子
写真提供：神戸市

2020年3月、NHKが東日本での調査報告書を軸として、証言記録「埋もれた声 25年の真実～災害時の性暴力～」という番組を制作し大きな反響を呼んだ。あきらめないで声を上げ続けたら、誰かに届くのだということを実感した。NHKなどといったメジャーなメディアが取り上げ、社会の認識の変化に繋がった。

防災は日常から始まる。国の報告によれば、内閣府は避難所運営などに女性への配慮を求める通達を何度も出していたが、被災地で認知していた自治体は4分の1、それを現場に実施するようにと伝えた自治体は4.5%に過ぎなかった。

2023年の日本のジェンダーギャップ指数は世界146カ国中、125位、政治参画は138位。意思決定の場に女性があまりに少ない。災害時に女性の人権を守るためには、平時におけるジェンダー平等が不可欠である。これからも、同じ思いの人たちとゆるやかに繋がって社会を変えていきたい。



講座案内

12月~3月

講座はすべて要予約。
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

男性セミナー

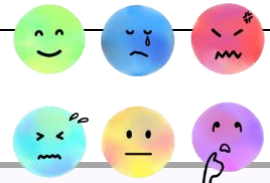
11月1日(金)から受付

12月1日(日) 10:00~12:00

思いが届く、相手と通じ合う 男性のための **感情表現ワークショップ**

関係を大事にしたい相手とのコミュニケーションに「もどかしさ」を感じている方へ。自分も相手も大切にする、感情の表し方と伝え方をワークショップを通して学んでみませんか？

- 進行役：安部達彦さん（一般社団法人 日本男性相談フォーラム 理事）
- 対象：男性 15人
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 11/22（金）までに要予約・先着順



市民力開発講座

12月3日(火)から受付

1月17日(金) 映画上映 13:30~15:30 追悼コンサート 15:50~16:20

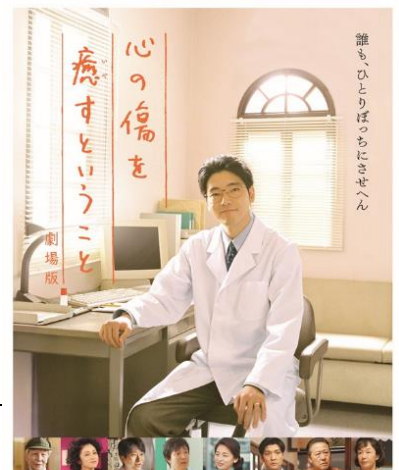
阪神・淡路大震災から30年のつどい
あの日、今、そしてこれから

『心の傷を癒すということ 劇場版』上映会
& 追悼コンサート

1995年1月17日におこった、阪神・淡路大震災から30年。
あの時受けた、私達の心の傷は、はたして回復したのでしょうか。
今もまた、あの時の様な「つらい」と声をあげにくい社会になってはいないでしょうか。
あの時頑張った人も、何もできなかったと思っている人も、あの日を経験していない人も、
共につどい、癒され、一緒に考えてみませんか？

- 1部：**映画上映** 13:30~15:30 ※13:10開場予定 自由席
『心の傷を癒すということ 劇場版』2020年/116分/日本
- 2部：**追悼コンサート** 15:50~16:20 歌とギター演奏 Naomi&Hashi

- 対象：テーマに関心のある方 50人
※お申込みは、同時に2名様までの受付とさせていただきます。
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 1/9（木）までに要予約・先着順



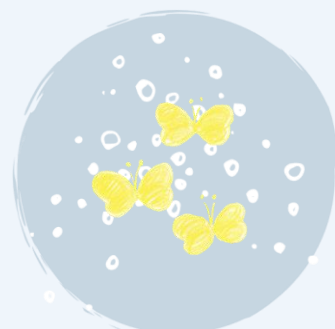
© 映画「心の傷を癒すということ」製作委員会

— 阪神・淡路大震災から30年のつどい —
メッセージ募集 & 展示

**当時の記憶や次世代への思いを
つづってください**

館内にて、用紙とペン等を用意しています。
阪神・淡路大震災から30年を経た今の思いや、次世代へのメッセージを書いて頂き、専用箱に入れるかスタッフまでお渡ししてください。頂いたメッセージは、期間中、館内フリースペースに展示いたします。

展示期間：1月4日(土)~1月31日(金)まで
対象：ご来館の方どなたでも



講座案内

12月~3月

講座はすべて要予約。
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

ほっとサロン

12月3日(火) 10:00~12:00

11月1日(金)から受付

わたしに戻る 映画の時間 「わたしのお母さん」 2022年/日本/106分

お子さんとちょっと離れて、わたしだけの映画の時間をぜひどうぞ♪
夫と暮らす夕子(井上真央)は母の寛子(石田えり)と一時的に同居することになった。
夕子は明るくて社交的な寛子がずっと苦手だった。不安を抱えて同居生活を始めた夕子。
ある日母娘の関係を揺るがす出来事が起こる…。



©2022「わたしのお母さん」製作委員会

- 対象：子育て中の女性 20人
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 11/25(月)までに要予約・先着順

2月25日(火) 10:00~11:30

1月6日(月)から受付

親子で楽しむキッズルーム



お子さんを遊ばせながら、気になる事を話してみませんか？ 子育てが楽しくなるヒントが、きっと見つかります。
親子遊びや絵本の読み聞かせなど、楽しいこといろいろ♪

- 対象：乳幼児とその保護者 10組
- 進行：NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 スタッフ

エンパワメント講座

1月6日(月)から受付

2月6日~2月27日(毎週木曜日) 全4回 10:00~12:00

女性のための コミュニケーション・ワーク

他人の視線や評価が気になったり、いつの間にか周りの期待に応えようと頑張りすぎていませんか？
自分の心に従い、日々を心地よく過ごすためのコミュニケーション・スキルやワークを学びます。

2月6日	自分を深めよう(エモーショナル・リテラシー/リスニングブロック) 田上時子さん NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 理事長
2月13日	他者との距離感を考えよう 井山里美さん NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 事務局長
2月20日	こころとからだを使った感情表現(アクションワーク) 川崎真美さん NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 理事
2月27日	これまでの自分とこれからの自分(内観法など) 田上時子さん



- 対象：テーマに関心のある女性 20人 (全回参加できる方優先)
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 1/29(水)までに要予約・先着順

情報・図書コーナー



情報・図書コーナーでは、
女性問題の解決や男女共同参画社会をめざす
さまざまな活動をサポートする情報を収集し発信しています。

貸出はお一人5冊・2週間です。

新刊も随時入荷。雑誌・コミックもあります。



講座案内

12月~3月

講座はすべて要予約。
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

令和6年度 宝塚市男女共同参画プラン推進フォーラム

12月3日(火)から受付

2月15日(土) 13:30~15:30 (13:00開場)

西村宏堂さん講演会「私が好きな私で生きる」



西村宏堂さん
僧侶/アーティスト

ずっと自分のことを劣等だと思って生きてきました。
今、他人と違う自分を受け入れ、好きになり、ユニークな自分として胸を張って、正々堂々と生きています。

~西村さん Profile~

1989年生まれ。ニューヨークのパーソンズ美術大学を卒業後、アメリカを拠点にメイクアップアーティストとして高い評価を得る。2015年、浄土宗の僧侶となる。LGBTQの一員でもある独自の視点で「性別も人種も関係なく皆平等」というメッセージを発信し、ニューヨーク国連人口基金本部、イエール大学、増上寺などで講演を行う。2021年に米TIME誌「次世代リーダー」に選出。2022年にはNHK紅白歌合戦でゲスト審査員を務める。著書『正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ』は、英語他、7か国語にも翻訳。

会場：ソリオホール 宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1・3階(阪急・JR宝塚駅下車すぐ)

- 対象：テーマに関心のある方 250人(要予約・先着順) ※お申込みは、同時に2名様までの受付とさせていただきます。
- 手話通訳/要約筆記あり
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 2/7(金)までに要予約・先着順



エル・シネマ

2月3日(月)から受付

3月8日(土) 映画上映 10:00~12:00 監督トーク 12:15~12:45

「かづ彘的」 2023年/日本/119分 映画上映&監督トーク



毎年、3月8日の国際女性デーを記念して行うエルの映画イベント。国立ハンセン病療養所に10歳で入所してから80年以上暮らしてきた、宮崎かづ彘さんを描いたドキュメンタリー映画の上映と、熊谷博子監督のトーク。

~トーク~ 熊谷博子 監督

東京都出身。1975年より戦争、原爆、麻薬などの社会問題を追ったドキュメンタリーを多数制作。『三池 終わらない炭鉱(やま)の物語』(2005)でJCJ(日本ジャーナリスト会議)特別賞、日本映画復興奨励賞を受賞。『作兵衛さんと日本を掘る』(2018)は、キネマ旬報文化映画ベスト10。



かづ彘的

BEING KAZUJICHI

できるんよ、やろうと思えば

- 対象：テーマに関心のある方 映画上映、トークともに50人 ※お申込みは、同時に2名様までの受付とさせていただきます。
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 2/28(金)までに要予約・先着順

～宝塚市立男女共同参画センター 令和6年度 市民企画支援事業案内～

各イベント内容の詳細は、宝塚市立男女共同参画センターHPにも随時掲載いたします。

11月16日(土) 受付中 一時保育は11/8(金)までに要予約	
<p>朗読なすなの文学を聴く 2024 朗読 なすな</p> <p>時間：10:15～12:15 定員：60名 参加費：無料</p>	<p>朗読 ア・ラ・カルト グループ 加羅</p> <p>時間：14:00～16:00 定員：40名 参加費：無料</p>
<p>くたびれない食事づくり ～簡単でおいしく～(講習会) 宝塚友の会</p> <p>時間：10:00～12:00 講師：中島克子さん・速水陽子さん (西宮市消費者団体連絡係) 定員：15名 参加費：試食代200円</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>お申込み:男女共同参画センター ☎ 0797-86-4006 もしくは窓口にて</p> <p>各日㊦切日までに要予約 ※一時保育あり:1歳～就学前</p>  </div>

男女共同参画センター利用登録グループが企画するイベントです。どなたでもご参加頂けます。

1月25日(土) 1月6日(月)から受付 一時保育は1/17(金)までに要予約	
<p>ことばを息にのせて ななつきの朗読会</p> <p>時間：10:00～12:00 定員：50名 参加費：無料</p> 	<p>コミュニケーション・スキルUP講座 アドラーの「勇気づけ」を学ぶ コーちゃんの会</p> <p>時間：10:00～12:00 定員：20名 参加費：無料 講師：東條茂樹さん (組織風土改革コンサルタント)</p>
<p>戦争体験から考える今！！ 宝塚男女共同参画センター連絡協議会</p> <p>時間：13:30～15:30 定員：50名 参加費：無料 講師：西澤慎さん (兵庫県平和美術協会 会長)</p>	<p>脱化石燃料と温暖化防止につながる「耕さない農業」 NPO法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会</p> <p>時間：14:00～16:00 参加費：無料 定員：30名+ZOOM ★ZOOM参加の方は、新エネルギーをすすめる宝塚の会HP (https://rept.or.jp)の「お知らせ」よりお申込みください。 講師(オンライン登壇)：金子信博さん (福島大学食農学類 特任教授)</p>

1月26日(日) 1月6日(月)から受付 一時保育は1/17(金)までに要予約	
<p>『サイレント・フォールアウト』 乳歯が語る大陸汚染』上映会 原発の危険性を考える宝塚の会</p> <p>時間：10:00～12:00 定員：50名 参加費：無料 映画『サイレント・フォールアウト』76分/2023年/伊藤英朗監督</p>	<p>大人向け講座 幸せにつながる 絵本の読み聞かせ ～絵本で育む 読み聞かせでつむぐ～ NPO法人「絵本で子育て」センター支部 絵がお</p> <p>時間：10:30～12:00 定員：20名 参加費：無料 絵本講師：中内博恵さん (青空図書館プロジェクト1期生)</p>
<p>私のモヤモヤ、これって女性差別？(2) 「ジェンダーの今を知ろう」 ジェンダー平等を考える宝塚の会</p> <p>時間：14:00～16:00 定員：30名 参加費：無料 講師：アルテイシアさん (作家)</p> 	<p>中国人ママ ヤンヤンと作ろう！遊ぼう！ 春餅&切り絵 NPO法人 多言語広場 CELULAS 宝塚</p> <p>時間：14:00～16:00 定員：35名 対象：親子(中学生以上の一人の参加は可) 参加費：4歳以上 1人300円 講師：沈暘(シン ヨウ)さん 持ち物有：エプロン、三角巾(バンダナ) ハンドタオル、はさみ、筆記用具</p>

施設利用案内



詳しくはセンター、またはセンターのHPで
<https://www.takarazuka-ell.jp>
 電話番号：0797-86-4006

学習交流室等のご利用

センターでは、学習交流室（5室）とプレイルームを有料でお貸ししています。グループ活動・ミーティング・講演会等にご利用いただけます。

活動内容・利用者の居住地により受付開始日や料金が異なりますので、詳しくは受付までお問い合わせください。

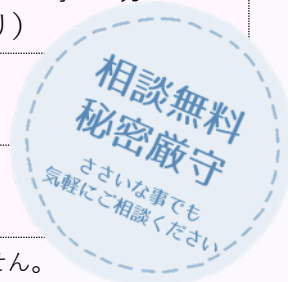
※営利を目的とした活動（「カルチャー教室」や「おけいこごと」の指導者による利用を含む）はご利用いただけません。



女性のための相談室

予約番号：0797-86-4006

電話相談	月・火・木・金・第2、3、4土曜日 直通電話（予約不要）：0797-86-3488	10時～12時／13時～16時
面接相談	第2・4水曜日 ※要予約・相談時間50分	10時～、11時～、12時～
法律相談	第1土曜日（原則） ※要予約・相談時間45分（市民対象 原則1人1回限り）	14時～、14時45分～、15時30分～、16時15分～
起業相談	第1・3水曜日 ※要予約・相談時間60分	10時～、11時～
チャレンジ相談	第1水曜日（原則） ※要予約・相談時間50分	11時～、12時～、13時～



※電話相談以外はすべて一時保育あり（要予約） 年末年始及び祝日の全相談業務はありません。

セクシュアルマイノリティ電話相談

専用電話番号：0797-71-2136

毎週水曜 15時～18時（祝日・年末年始を除く）（問い合わせ：宝塚市役所 人権平和・男女共同参画課）

自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、さまざまな相談に応じます。本人、家族、友人、教員などなたでも相談できます。

宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

開館時間：月曜日～土曜日（9時～21時）

日曜日・祝日（9時～17時）

休館日：毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

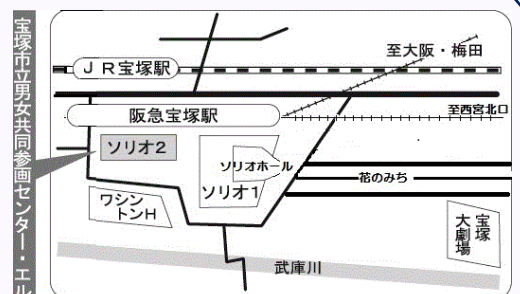


LineID：@763zrxid

Instagram



TAKARAZUKAELL



ホームページ：https://www.takarazuka-ell.jp/

メール：elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp